

# 令和6年度一般会計予算

## 住民ニーズにきめ細かい対応を

9つの重点項目で

総合戦略の4つの基本計画、創生基本計画、福祉基本計画、教育基本計画、防災基本計画に基づき、下記の9つの重点項目を掲げ、住民ニーズにきめ細かく対応できるように計上したものです。

総額は108億7千万円で、前年度1・0%、1億1500万円の減額。これに、住宅新築資金等貸付事業、宮川奨学資金、情報センター事業の3つの特別会計を含めた「普通会計」は、重複分を差し引いた純計予算で107億3871万円となり、前年度比2・0%、2億2033万円の減となっている。

- 1 新型コロナウイルスにおける感染予防の継続と、コロナを乗り越えた後の時代を見据えた経済対策の推進
- 2 製造業と一次産業を軸にした新産業創造事業の取り組み
- 3 妊娠期から子育てまでの包括的な支援体制の強化
- 4 黒潮町版地域包括ケアシステムの深化による地域社会の構築
- 5 自ら考え判断し行動できる力、学び続ける力の育成
- 6 全ての自然災害に対する防災、減災施策の推進
- 7 移住、定住対策の推進及び安全な住宅地の形成
- 8 高規格道路の早期完成と関連事業の推進
- 9 カーボンニュートラル社会などSDGsの展開とDXによる新しい時代に対応したまちづくりの推進

可決（全員）

### 9つの重点項目

#### 1 コロナ感染予防の継続とコロナ後の経済対策の推進

令和6年度においては、現状、コロナ対策事業のみに特化した予算計上はないが、コロナ交付金に代わり、令和5年度、国の補正予算により対応の「重点支援地方交付金」において、令和6年度に繰り越して実施する「地方商品券配布事業」や、令和6年度の住民税所得割・所得税納税者に対する「定額減税」及び定額減税しきれない方に対する「調整給付」を行っていく。

#### 2 製造業と一次産業を軸に新産業の創造を

製造業については、事業者と共に潜在する可能性を探っていく。一次産業の農業、林業、漁業については、後継者の育成を大きな課題と考え、施策の充実を図る。農業部門では、引き続き担い手支援事業補助金や農業

次世代人材投資資金「経営開始型」、新規就農者育成総合対策事業「経営開始資金」、「経営発展支援事業」等による就農支援を。また、園芸用ハウス整備事業費補助金、施設レモン産地化支援事業費補助金等で所得向上を支援する。

林業部門では、森林環境譲与税を活用して林業経営の効率化を図るとともに、森林環境保全整備事業費補助金を新設して再造林の推進を図る。

水産業部門では、引き続き新規漁業就労者の支援や種子島周辺対策事業補助金、投石魚礁設置事業、もどりガツオ祭やカツオ関連商品の販売促進関連の予算を計上している。



でも納税文旦(上)  
さとのたきカツオ(下)

#### 3 妊娠期から子育てまで包括的な支援体制の強化

妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴奏型相談支援を行うための出産・子育て応援交付金や妊婦乳児一般健康診査事業などを計上。また、不妊治療費の補助対象を、令和6年から特定不妊治療のみから一般不妊治療まで範囲を広げる。

医療費助成制度については、これまでの乳幼児（0～5歳）、小中学生（6～15歳）に加えて、18歳まで対象範囲を拡充し、「高校生等医療費助成事業（16～18歳）」を計上している。